

週報

2025年度 教会標語

「主につながり、根を張り、枝をひろげて」

<先週の説教から>

『ルカ ④ — 幸せと不幸せの違いがある』

武田真治牧師

イザヤ書 31:1~3 ルカ福音書 6:20~26

今、『ルカ福音書』にあるイエス様の言葉集(=説教集)を読み始めています。これと同じようなイエス様の言葉集が、『マタイ福音書』では5~7章に集められています。その言葉集はよく『山上の説教』と呼ばれるのに対して、ルカ福音書のこの言葉集は『平地の説教』と呼ばれます。それは6章17節で、イエス様は弟子たちを呼び集めておられた「山から下りて平らな所にお立ちになって」語られたとあるからです。故に、昔からこの2つの福音書の違いをその点からあれこれと語られて来たのですが、ただ、重要な点は両方の言葉集ともその最初の言葉は「~の人は幸いでである」という点であることではないかと。なぜなら、ここにはイエス様の私たち皆に何より伝えたいメッセージが込められているからです。それこそ私たち人間は“幸せになるために生きている”のではないかという点でしょう。私たちが何の為に生きているのかと言えば、それは「幸せになるため」だとイエス様ご自身が語って居られるのです。

これは逆に言えば、私たちが信仰を与えられて教会へと導かれていることも「幸せをみつけなさい」という御招きであると言い得ます。ただ、問題は、その「幸せ」は人によって感じ方や考えが異なっているという点でしょう。

ここでイエス様は「貧しい人々は幸いでである。神の国はあなたがたのものである」と言われていますから、イエス様の言われる“幸せ”とは「神の国を得る」ことであると言い得ます。この神の国とは一つには天のみ国のことで、私たちがこの世を去った後にイエス様の元へと迎入れられることを指しますが、もう一つ、この地上で神の国=神さまのご支配や神さまの御恵みを受けることも含まれています。今日の箇所次の言葉に「今飢えている人々は、幸いでである。あなたがたは満たされる。今泣いている人々は、幸いでである。あなたがたは笑うようになる」とあるのは、遠い未来のことで

はなく、この地上の生活においても『必ず、あなたがたは満たされ、笑えるようになるから!』とイエス様が約束してくださっているのです。その時に、私たちが主に導かれていること、導かれていることをしっかりと感じる事が出来るだろうと!まさに、そこに“神の国=主のご支配と導き”が現れることになるのだと!その瞬間は、私たちにとって何より素晴らしい、祝福に満ちた時になると思います。

ここでの『幸いでである』という言葉の原語は(マカリオイ=祝福された者達)という意味でした。私たちの「幸せ」は何より神様から“祝福を受ける”ことなしに本当の幸せは与えられません。『何よりもまず、神の国と神の義を求めなさい。そうすれば、これらのものはみな加えて与えられる』(マタイ6章33節)と約束してくださっているのですから!

【今週の集会】

*聖書研究・祈祷会 I. 7月2日(水) 20:00
II. 7月3日(木) 10:30

聖書研究: ローマの信徒への手紙
祈祷主題: 創立記念礼拝、チャペルコンサートを覚えて
担当者: (水) 岩佐 (木) 富澤
祈りに覚える人: 北條さん 保坂さん

【教勢報告】

主日礼拝 男21 女49 計70
祈祷会 I. 男2 女3 計5 II. 男1 女7 計8
日曜学校 幼稚科5 小中科10 計15
ひつじ雲の会<6月23日(月)> 男0 女5 計5

【次週主日礼拝】 7月 6日(日)

聖書: 出エジプト記 22:24~26
ルカによる福音書 6:27~31
説教: 「ルカ④一敵を愛し、祝福を祈ること」
武田真治牧師

讃美歌: 14(1), 32, 127, 394, 528, 75

【次週当番表】 (1~2), 27(1)

司式: 飯田長老 奏楽: 須田 礼拝: 保坂長老
配餐: 金刺 齋藤 坂田 鈴木 各長老
献金: 三箇 鄭 受付: 西尾 森本
会堂準備: 浅井 阿部 齋藤 山田
看板: 保坂 週報: 岩佐 お花: 森本

【次週集会予定】

礼拝前: ・聖書輪読会 ・求道者会
礼拝後: ・7月誕生者祝福 ・お茶の会 ・牧師と語る会
・聖歌隊練習 ・長老会 ・会堂管理委員会

2025年 6月 29日

日本キリスト教団 上尾合同教会
牧師 武田真治

〒362-0041 上尾市富士見2-3-33
TEL&FAX 048-771-6549